

平成28年度 第1回学校関係者評価報告書

鳥取県立境高等学校
 学校長 田淵 直記

評 価 日	平成28年7月7日 (木)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
<p>1. 前年度の最終評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部活動が盛んな地域の普通科高校として役割を果たしている。特に国公立大学に境高校から進学できることが大切である。 ○境高校の人間教育は良くできている。 <p>2. 前年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高い学力を持って入学した生徒の成績をさらに上げるような取組（事業）が必要と考える。 <p>3. 今年度の評価計画について</p> <p>(1) 目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己評価表の目標に具体的な指標を設定すると良い。 <p>(2) 目標達成のための取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒に家庭学習の習慣を身に付けさせる良い取組を示してほしい。 <p>(3) 評価基準及び評価指標について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特に意見なし <p>4. 学校運営や予算に関する提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ○境高校は良い学校である。良い学校であり続けるには、生徒に「自分は境高だけど、進学校と言われる高校には負けない」という意識を持たせる取組が必要である。そのためには、先輩や地域の経験者の声を生徒が直接に聞くことができる機会を設定するとよい。 ○学級減に伴う教員数の減少で学校経営も難しくなっていないか。学校の特色である部活動に影響は出ていないか。 		<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人たちが応援してくれる学校として、難関大学合格者数増加を目指し、続けて努力する。 ○現在は、面接指導の充実を図っているが、生徒の伸びしろは、まだまだあると考えている。 ○自己評価表の現状の欄に具体的な数値を多く用いているため、目標は経年比較で具体的な指標をイメージできると考えている。 ○週明けテスト・課題テスト等に取り組んではいるが、一層工夫したい。 ○通学時間のかかる米子より境港で頑張りたいという生徒もいる。境高校が地域の小中学生の目標となるようにしていきたい。 ○部活動は外部指導者の力も借りて行っている。休部や廃部となる部活もある。